

令和元年8月16日

令和元年度病害虫発生予察注意報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：トビイロウンカ
2. 対象作物：普通期水稻
3. 対象地域：県中部
4. 発生量：多
5. 注意報発表の根拠
 - 1) 8月9日現在、県中部では発生ほ場率が71%（平年12%）、25株あたり成・幼虫数が12.9頭（平年0.2頭）で、過去10年間と比べて最も多い（第1表、第2表）。なお、県北部では発生ほ場率が12%（平年11%）、25株あたり成・幼虫数が0.2頭（平年0.4頭）と平年並であった。
6. 防除上の注意事項
 - 1) トビイロウンカの発生量は地域間やほ場間で大きな差があるため、ほ場毎に発生状況を確認する。なお、同一ほ場内においても発生に偏りがあり局所的に多発することから、ほ場の全体をよく観察する必要がある。
 - 2) 本種は増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも8月下旬以降に高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生状況を確認し、1株あたり5頭以上の成・幼虫を確認したら、早急に薬剤防除を実施する。
 - 3) 本種はイミダクロプリド剤に対する感受性の低下が認められているので、防除薬剤の選定に注意する。
 - 4) 防除薬剤は最新の登録情報（（独）農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システム https://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm）を参照し、適正に使用する。
 - 5) 薬剤散布に当たっては、各農薬の使用基準を遵守する。収穫期が近い場合は、特に使用時期（収穫前日数）に注意するとともに、周辺ほ場への飛散防止に努める。
 - 6) 本種は株元に生息するので、薬液が株元に十分到達するように散布する。
 - 7) 県北部においてもほ場での発生状況を観察し、発生が多い場合は防除する。

担当：農作物病害虫防除所 井口、内西 電話：0736-64-2300
--

第1表 トビイロウンカの発生状況（令和元年8月7～9日） 25株あたり虫数（頭）

地域	調査地点		幼虫	成虫	計	(平年)
県中部	御坊市	野口	0	0	0	
	日高町	高家	2	0	2	
	印南町	印南原	0	0	0	
	みなべ町	西本庄	27	2	29	
	日高川町	和佐	42	3	45	
	日高川町	熊野川	1	0	1	
	田辺市	甲斐ノ川	11	2	13	
	平均					12.9
県北部	和歌山市	谷	0	0	0	
	和歌山市	直川	0	0	0	
	和歌山市	和佐関戸	0	0	0	
	和歌山市	朝日	0	0	0	
	和歌山市	小瀬田	0	0	0	
	海南市	別院	0	0	0	
	海南市	次ヶ谷	0	0	0	
	紀美野町	福田	0	0	0	
	紀の川市	丸栖	0	0	0	
	紀の川市	井田	0	0	0	
	紀の川市	西三谷	0	0	0	
	岩出市	中迫	0	0	0	
	橋本市	山田	1	0	1	
	橋本市	赤塚	0	0	0	
	かつらぎ町	下天野	0	0	0	
	かつらぎ町	西飯降	2	0	2	
	広川町	広	0	0	0	
	平均					0.2

注)ほ場における払い落とし調査

第2表 トビイロウンカ発生状況の推移(県中部、8月上旬)

	平成21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	平年
発生ほ場率 (%)	14	0	43	14	14	14	0	14	0	0	71	12
25株当たり虫数(頭)	0.1	0	0.6	0.4	0.1	0.4	0	0.1	0	0	12.9	0.2

注)ほ場における払い落とし調査(調査ほ場数:7ほ場)